

1. 職名・氏名 准教授 松下 元則

2. 学位 学位 修士、専門分野 総合政策、授与機関 中央大学、授与年月 2000年3月

3. 教育活動

| | |
|--|--------------|
| (1)講義・演習・実験・実習 | |
| ①担当科目名（単位数） | 主たる配当年次等 |
| 経営学総論 I（2単位 毎年開講） | 1年生（2012年度～） |
| ②内容・ねらい | |
| 内 容：経営学の基本的な知識を解説した。 | |
| ねらい：受講生が①経営学とはどのような学問かをイメージできるようになり、②経営学の専門用語を使って書かれたものを読めるようになること。 | |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 | |
| パワーポイントを用いて講義を行った。スライドのハードコピーを、授業時間内に配布した。映像資料と新聞・雑誌記事を使用することによって、具体的な企業の行動と関連づけて、理論を理解できるようにした。 | |
| ①担当科目名（単位数） | 主たる配当年次等 |
| 国際経営論（2単位 毎年開講） | 3年生（2013年度～） |
| ②内容・ねらい | |
| 内 容：国際経営論の基本的な知識を解説した後、ケース・ディスカッションを行った。 | |
| ねらい：受講生が①国境をこえた企業活動の実態をイメージできるようになることと、②国際経営論の専門用語を使って書かれたものを読めるようになること。 | |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 | |
| ケース論文と映像資料、新聞・雑誌記事を使用して、ケース・ディスカッションを行うことによって、具体的な企業の行動と関連づけて、理論を理解できるようにした。 | |
| ①担当科目名（単位数） | 主たる配当年次等 |
| 基礎ゼミ（2単位 毎年開講） | 2年生（2013年度～） |
| ②内容・ねらい | |
| 内 容：経営戦略論の入門書を輪読した。 | |
| ねらい：読解力と文章力、議論する能力、プレゼンテーション能力を養うこと。 | |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 | |
| 毎回、担当者を決めて、教科書の内容をパワーポイントで説明してもらい、受講生間で議論した。発表担当者以外には、毎回、教科書の内容を要約したレジュメを提出してもらった。 | |
| ①担当科目名（単位数） | 主たる配当年次等 |
| 外書講読 I（2単位 毎年開講） | 2年生（2012年度～） |
| ②内容・ねらい | |
| 内 容：英語で書かれた経営戦略論の論文を輪読した。 | |
| ねらい：受講生が①英語の文章に慣れることと、②論文を1本、最初から最後まで読む体験をすること、③著者の主張を要約できるようになること。 | |

| |
|--|
| <p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 理論というレンズを通して経営現象を理解することの面白さを実感できる内容で、受講生が比較的読みやすい論文を選んだ。</p> |
| <p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅰ（4単位 毎年開講） 3年生 （2013年度～）</p> |
| <p>②内容・ねらい 内 容：経営戦略論のテキストを2冊、輪読した。 ねらい：受講生が、経営戦略の思考法を理解し、戦略分析のツールを使えるようになること。</p> |
| <p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 毎回、全員にテキストの内容を要約したレジュメを提出してもらい、受講生間で議論した。この他に、演習Ⅰ・Ⅱ合同の卒論発表会を開き、受講生が司会と質疑応答を行った。</p> |
| <p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅱ（4単位 毎年開講） 4年生 （2014年度～）</p> |
| <p>②内容・ねらい 内 容：卒業論文を執筆し、口頭発表を行った。 ねらい：卒業論文の執筆を通じて、受講生が①自ら問いかけて学ぶ楽しさを経験することと、 ②自ら問いかけて学ぶために必要な能力を身につけること。</p> |
| <p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 受講生全員が卒業論文を執筆し、卒論発表会で口頭発表を行った。卒業論文集を作成して、演習Ⅰ・Ⅱの受講生全員に配布した。事前に全員が全ての論文を読んできている状態で、卒論発表会を開催し、演習Ⅰ・Ⅱの受講生全員で議論した。</p> |
| <p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 現代経営学（2単位 毎年開講） 大学院 （2012年度～）</p> |
| <p>②内容・ねらい 内 容：経営戦略論の入門書を輪読した。 ねらい：受講生が経営戦略論の入門書を読めるようになること。</p> |
| <p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 毎回、担当者を決めて、テキストの内容をパワーポイントで発表してもらい、受講生間で議論した。発表担当者以外には、毎回、テキストの内容を要約したレジュメを提出してもらった。</p> |
| <p>(2)非常勤講師担当科目</p> |
| <p>①担当科目名（単位数） 開講学校名</p> |
| <p>②内容・ねらい（自由記述）</p> |
| <p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）</p> |
| <p>④本学における業務との関連性（自由記述）</p> |
| <p>(3)その他の教育活動</p> |
| <p>内容</p> |

4. 研究業績

| |
|--|
| (1)研究業績の公表 |
| ①論文 |
| 2019 |
| ・「函館西部地区バル街の参加店コメントのテキストマイニング分析：参加店が参加者に向けて発するメッセージの変化」『福井県立大学経済経営研究』41, 2019, pp.13-36. (単著) |
| ・「バル街をめぐる言説のテキストマイニング分析：言説の“内容”と“数”の変化」『福井県立大学論集』52, 2019, pp.37-57. (単著) |
| ・「函館西部地区をめぐる言説の変化：バル街の“開始前の15年間”と“開始後の15年間”の比較」『福井県立大学経済経営研究』40, 2019, pp.19-34. (単著) |
| 2018 |
| ・「食のイベントを起点とした地域活性化：良循環創出のメカニズムの解明」公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団研究助成実績報告書, 2018, pp.1-11. (単著) |
| 2017 |
| ・「函館西部地区バル街の定着過程における新聞記事の役割：北海道新聞は地域イノベーションをどのように伝えてきたのか」, 『福井県立大学経済経営研究』37, 2017, pp. 15-34. (単著) |
| ・「古民家再利用を促進する地域イノベーションのメカニズムの解明」公益財団法人大林財団研究助成実績報告書, 2017, pp.1-4. (単著) |
| ②著書 |
| (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名) |
| ③学会報告等 |
| (タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所)) |
| ④その他の公表実績 |
| (2)学会活動等 |
| 学会でのコメンテーター、司会活動 (担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日)) |
| 学会での役職など (学会名) |
| 学会・分科会の開催運営 (担当学会(大会)名(開催年月日)、開催場所) |
| (3)研究会活動等 |
| ①その他の研究活動参加 (参加研究会名、調査活動名(期間)) |
| ②その活動による成果 |
| (4)外部資金・競争的資金獲得実績 |
| 2019 |
| ・公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団研究助成金, 「地域活性化を目指す“食”に関するイベントの効果の検証」, 2019, 研究代表者(個人研究). |
| 2018 |
| ・福井県立大学個人研究推進支援(ステップアップ研究支援), 「函館西部地区における戦略とパワーの不一致解消メカニズムに関する研究」, 2018, 研究代表者(個人研究). |
| 2017 |
| ・公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団研究助成金, 「食のイベントを起点とした地域活性化：良循環創出のメカニズムの解明」, 2017, 研究代表者(個人研究). |
| 2016~2017 |
| ・科学研究費補助金挑戦的萌芽研究, 「地域イノベーションのメカニズムの解明：函館西部地区バル街の事例研究」, 2016~2017, 研究代表者(個人研究). |

| |
|---------|
| (5)特許出願 |
| |

5. 地域・社会貢献

| |
|---|
| (1)学外団体 |
| ①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間） |
| ②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間） |
| ③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間） |
| ④（兼業規程で業務と見なされる範囲内の）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間） |
| ⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等（事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間） |
| ⑥その他（名称、活動場所、活動期間） |
| (2)大学が主体となっている地域貢献活動等 |
| ①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時） |
| <u>2019</u> ・短期ビジネス講座（講師）「働く人の時間管理」、2019年12月7日. |
| <u>2018</u> ・短期ビジネス講座（講師）「論文講読（経営戦略論）」、2018年12月1日. |
| <u>2017</u> ・短期ビジネス講座（講師）「戦略分析への招待」、2017年11月4日. |
| <u>2015～2019</u> ・短期ビジネス講座（企画コーディネーター）、2015～2019. |
| ②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時） |
| <u>2019</u> ・入試説明会、福井県立足羽高校、2019年7月19日. |
| <u>2017</u> ・越前町中高一貫ウィンタースクール（福井県立丹生高校主催）「経営学の言葉でハンバーガー業界について考える」、福井県立丹生高校、2017年12月25日. ・学部学科紹介、星稜高校（大学訪問）、2017年10月16日. |
| ③その他（名称、活動場所、活動期間） |
| (3)その他（個人の資格で参加している社会活動等） |
| （活動内容、主たる活動場所、活動期間） |

6. 大学の管理・運営

| |
|--|
| (1)役職（副学長、部局長、学科長） |
| （職名、期間） |
| (2)委員会・チーム活動 |
| （名称、期間） |
| <u>2015～2019</u> ・短期ビジネス講座企画コーディネーター、2015年4月～2020年3月 |
| <u>2016～2017, 2019</u> ・学部予算研究委員会委員、2016年4月～2018年3月、2019年4月～2020年3月 |
| <u>2017～2018</u> ・インターンシップ運営委員、2017年4月～2019年3月 |

(3)学内行事への参加

(行事名、参加日時)

- ・全学ミーティング等

(4)その他、自発的活動など

(活動名、活動内容、活動期間)